



編集/鹿児島県 発行/鹿児島県広報協会 偶数月発行

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL:099-286-2111 内線2095 FAX:099-286-2119

鹿児島県ホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/>

## KAGOSHIMA

1面～3面 改革継続・生活優先予算  
～平成22年度鹿児島県当初予算の概要～  
4面 情報ボックス/特産品プレゼント

## 改革継続・生活優先予算

～平成22年度鹿児島県当初予算の概要～

平成22年度当初予算の編成に当たっては、平成21年度3月補正予算と連携して、雇用・経済対策に積極的に取り組み、3月補正予算と当初予算で1,012億円の雇用・経済対策費を計上しました。また、「県政刷新大綱」を踏まえた歳出削減・歳入確保の取り組みを継続しつつ、「かみなぎる・かごしま」の実現に向け、「三つの挑戦」と「三つの課題」への重点的な予算配分を行いました。さらに、国民の暮らしの豊かさに力点を置く国の政策の方向性も踏まえ、「改革継続・生活優先予算」としての編成を行った結果、2年連続のプラス予算といたしました。

今後とも、「かみなぎる・かごしま」、「日本一の暮らし先進県」の実現に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。



鹿児島県知事  
伊藤 祐一郎

© K.P.V.B

平成22年度当初予算(一般会計) 7,738億5百万円 (対前年度当初比 +0.2%) **2年連続のプラス予算**

「三つの挑戦」と新たな時代への「三つの課題」に取り組みつつ、県政刷新大綱を踏まえた行財政構造の着実な進展を図ります。

### 3つの挑戦

持続可能性 ・ 産業おこし ・ 鹿児島おこし

### 3つの課題

環境 ・ 食料 ・ 医療・福祉

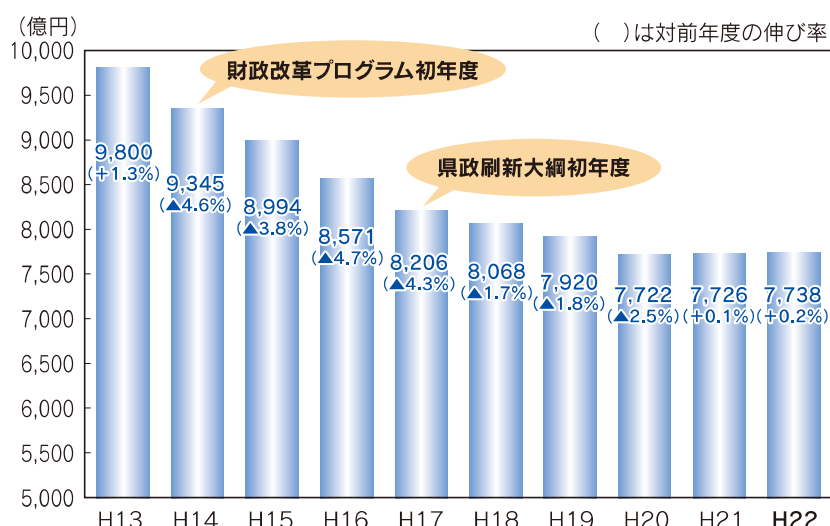
- 1 オープンな県政の展開と持続可能な行財政構造の構築
- 2 生涯を通じて安心して暮らせる社会づくり **医療・福祉**
- 3 安心・安全な社会の形成と県土づくり
- 4 人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり **環境**
- 5 新時代に対応した戦略的な産業おこし **食料**

- 6 誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくり
- 7 快適で活力ある生活空間の形成
- 8 農山漁村の活性化と奄美・離島の振興
- 9 共生・協働による温もりのある地域社会づくり
- 10 教育の再生と文化・スポーツの振興

## 平成22年度当初予算の特色

### 当初予算規模の推移

2年連続のプラス予算(対前年度当初比 +0.2%)



### 県債残高と財源不足額の推移

〔県債残高見込額〕

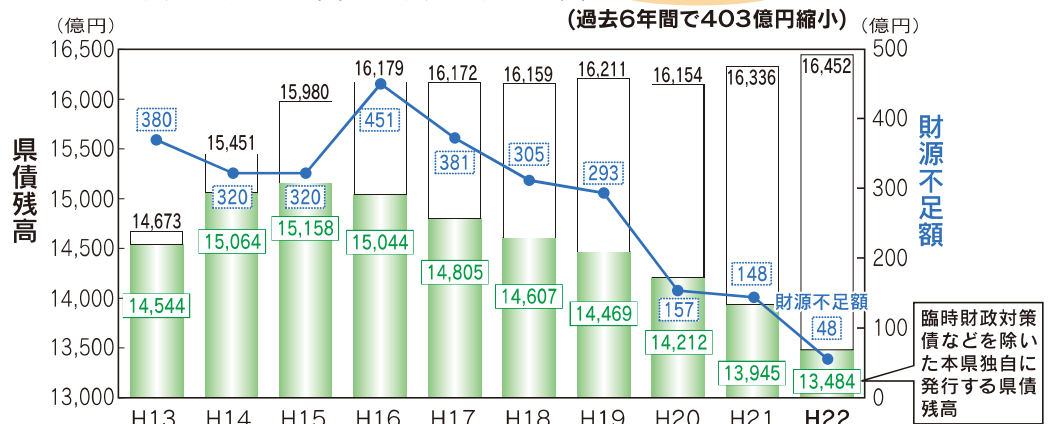
平成21年度末 1兆6,336億円 → 平成22年度末 1兆6,452億円

〔臨時財政対策債などを除いた本県独自に発行する県債残高〕

平成21年度末 1兆3,945億円 → 1兆3,484億円 **461億円減少**

〔財源不足額〕

平成21年度 148億円 → 平成22年度 48億円 **100億円減少**



※ 県債残高はH20年度までは決算額、H21年度は3月補正後見込額、H22年度は当初予算時点の見込額。  
□は臨時財政対策債とH19年度以降の減取補てん債を除いた額。

# ～平成22年度に取り組む主な施策の概要～

## 6 誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくり

- ふるさと雇用再生特別基金事業** 35億9,400万円  
 地域の雇用の再生のため、地域求職者などを雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施します。
- 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業** 59億7,700万円  
 離職者などの生活の安定などを図るため、短期の雇用・就業機会を創出する事業を実施します。  
 [※上記2事業により、約5千人の雇用が創出される見込みです。]
- 離職者等就業・就農促進緊急対策事業** 9,300万円  
 離職者などを農業法人などへ円滑に就業させるため、有効な事前研修を実施します。  
 ▶農業開発総合センターにおける実務研修(10名)  
 ▶市町村農業公社などにおいて県の委託業務に従事しつつ行う実務技能修得(40名)
- 「新」かごしまニューライフプラン検討委員会の設置** 500万円  
 「かごしまニューライフプラン検討委員会」を設置し、ふるさと鹿児島で生涯安心して働き、生活できる社会づくりを支えるための施策を検討します。
- 「新」若者自立支援対策推進事業** 2,400万円  
 ニート、フリーター、ひきこもり、不登校など、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者への総合的な支援を行うため、総合相談窓口の設置や関係機関・団体との支援ネットワークを整備します。

## 7 快適で活力ある生活空間の形成

- 鹿児島港新港区の改修** 1億4,700万円  
 鹿児島港新港区について、奄美・沖縄フェリー航路の拠点機能の強化を図るため、利用者の利便性・安全性の向上、円滑な物流の確保および防災機能の強化に資するよう、改修を行います。  

 イメージ図
- 都市緑化フェア推進事業** 9億4,000万円  
 県民の都市緑化への意識高揚や、九州新幹線鹿児島ルートの新幹線開業にあわせた「本物。鹿児島県」の情報発信を図るため、「第28回全国都市緑化かごしまフェア(愛称:花かごしま2011)」を開催します。  
 ▶開催期間 平成23年3月18日(金)～5月22日(日)  
 ▶メイン会場 吉野公園  
 ▶サブ会場 鹿児島ふれあいスポーツランド  
 ▶まちなか会場 鹿児島市中心市街地  
 ▶協賛会場 県内各地の公園、民間施設など  
 ▶回遊拠点 道の駅、駅・港・空港など  
 ▶ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ryokka/index.html>  


 第28回全国都市緑化かごしまフェア マスコットキャラクター「ぐりばー」

## 8 農山漁村の活性化と奄美・離島の振興

- 「新」集落営農育成支援事業** 800万円  
 集落営農を育成するため、集落営農推進リーダーを育成するとともに、地域の合意形成活動を支援します。  

- 「新」離島漁業再生支援事業** 2億8,100万円  
 漁村集落の創意工夫を生かした新たな取り組みなどに対して支援し、離島漁業の再生と漁村の機能の維持・増進を図ります。

## 9 共生・協働による温もりのある地域社会づくり

- 「新」地域協働推進力強化プロジェクト事業** 300万円  
 地域振興局・支庁ごとに地域の課題解決に向けた取り組みを進めるための体制を整備し、協働の具体的な取り組みを検討するとともに、啓発セミナーなどを実施します。  

 住民協働による道路の整備
- かごしま地域塾推進事業** 1,300万円  
 教育的風土や伝統を生かして、子どもたちが思いやりの心や自律心などを学ぶ「かごしま地域塾」の普及・拡大や「かごしま子どもリーダー塾」の取り組みをさらに充実します。

## 10 教育の再生と文化・スポーツの振興

- 「新」高校の実質無償化**  
 ▶公立高校の授業料無償化 (約35億円)  
 ▶私立高校の授業料の負担軽減 27億9,600万円  
 国の政策を受けて、県立高校の授業料を無償化するとともに、私立高校生などに対し就学支援金を支給し、また、経済的理由により修学困難な高校生に対する授業料減免補助を行い、家庭の教育費負担を軽減します。
  - 特別支援教育の充実**  
 ▶鹿児島盲学校の整備(建設工事) 24億2,900万円  
 平成23年度開校予定  
 ▶鹿児島養護学校の整備(実施設計) 2億100万円  
 平成25年度開校予定  
 ▶「新」高等特別支援学校の整備(実施設計) 1,300万円  
 障害の程度が比較的軽い知的障害者の教育の充実を図るため、鹿児島東高校内に平成24年度開校  

 鹿児島盲学校完成予想図
  - 「近代化産業遺産群」世界遺産登録推進事業** 5,800万円  
 「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録に向け、関係県・市一体となった取り組みを着実に推進します。  

- ※予算額は、百万円未満を四捨五入しています。  
 ※「新」は、平成22年度に取り組む新規事業です。

## 県政刷新大綱を踏まえた行財政構造改革に取り組んでいます

平成22年度当初予算編成においては、景気後退に伴い県税収入が大きく減少することが予想されることや政権交代に伴う国予算の見直しが行なわれる中で、地方財政対策において所要一般財源が確保されたこと、および「県政刷新大綱」を踏まえた歳出削減・歳入確保の取り組みの結果、平成21年度に148億円あった財源不足額を48億円にまで圧縮しました。

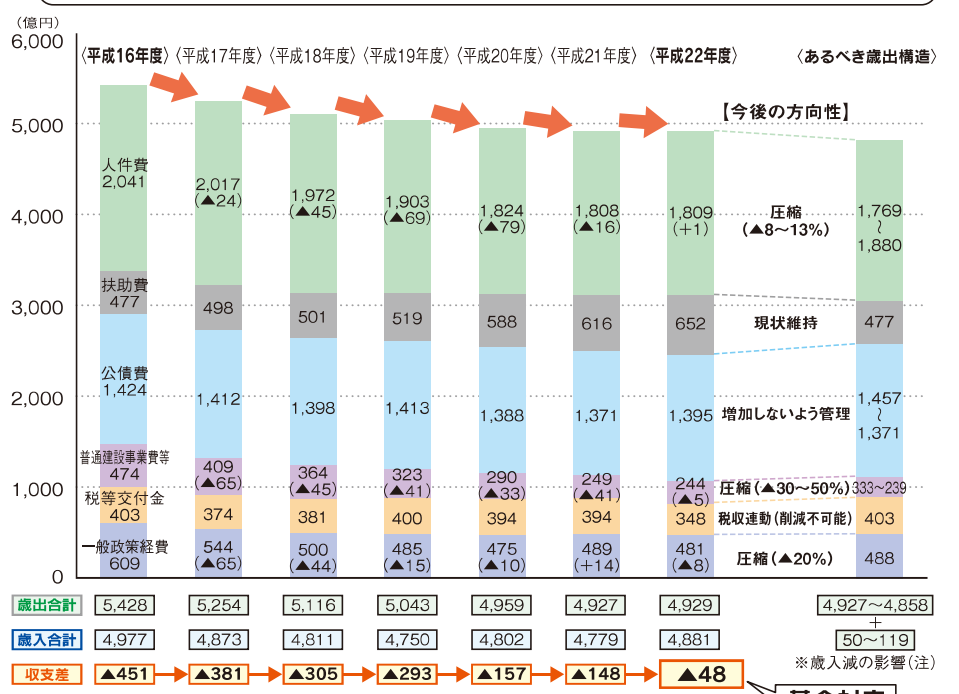
### 当面の財政収支の見通し(平成19年8月公表) (22年度) 財源不足額見込額: 208億円

景気後退に伴う税収減 政権交代に伴う国予算の見直し		地方財政対策における 所要一般財源の確保	
歳出面での 取り組み	▶人件費	△27億円	職員数の縮減、職員給の縮減 など
	▶公債費	△11億円	県債発行の抑制、利子の減 など
	▶扶助費	94億円	後期高齢者医療制度による増 など
	▶普通建設事業費等	△24億円	総事業費を確保した上での重点化、財源確保 など
▶一般政策経費	17億円	経済情勢へ対応しつつ内部経費の抑制 など	
歳入面での 取り組み	▶税等未収債権の縮減		県税の特別滞納整理班の体制強化 など
	▶県有財産の売却	40億円	
	▶地方交付税還元などの財源確保の取り組み		

財源不足額 48億円 (H21年度:148億円)

財源不足額については、基金取り崩しで対応

### あるべき歳出構造へ向けた歳出削減の取り組み(一般財源ベース)



403億円の収支改善

(注)「歳入減の影響」は、「普通建設事業費等の圧縮」に伴うもの。

# 「かみなぎる・かごしま」の実現に向けて

## 1 オープンな県政の展開と持続可能な行財政構造の構築

### ・職員数の縮減

簡素で効率的な組織機構の整備や民間委託の推進などにより、一般行政部門の職員数(平成21年4月1日現在5,534人)について、100人以上を縮減します。

県政刷新大綱などを踏まえた人員削減の取り組み 平成21年4月1日現在

▶組織機構改革方針[H17.12策定]  
削減目標:おおむね10年で1,000人以上 → 実績:771人(進捗率 77.1%)

## 2 生涯を通じて安心して暮らせる社会づくり 医療・福祉

### ・**新**県立大島病院地域救命救急センター整備事業 2,400万円

地域救命救急センターを県立大島病院に整備し、同病院を実施主体としたドクターヘリの導入を進めるなど、奄美地域における救急医療・救急搬送体制を強化します。



県立大島病院

### ・緊急医師確保対策事業 9,100万円

深刻化する医師不足の状況を踏まえ、鹿児島大学や医師会と連携して将来にわたって安定的に医師を確保する対策を実施します。

### ・**新**肺がん早期発見促進事業 6,200万円

本県で、がんの中で最も死亡率が高い肺がんの早期発見を促進するため、低線量CTによる肺がん検診費用を助成します。



▶助成対象者数 10,000人  
▶助成単価 検診費用の7割程度

### ・安心こども基金総合対策事業 19億1,600万円

保育所や新たな保育需要に対応した認定こども園などの整備および地域の子育て支援活動を促進します。

▶保育所等整備事業費補助  
・保育所創設など30箇所(定員1,045名増)  
▶地域子育て創生事業費補助  
・市町村が実施する創意工夫のある子育て支援の取り組みを促進します。



### ・**新**子ども手当支給事業(児童手当相当分) 32億600万円

市町村が中学校修了までの児童を対象に、一人につき月額13,000円を支給する子ども手当の給付費の一部を負担します。

### ・介護基盤緊急整備事業 58億4,900万円

地域の介護ニーズに適切に対応するため、特別養護老人ホームなどの介護施設について、「鹿児島すこやか長寿プラン2009」に基づく整備分に追加して積極的に整備を進めます。

▶特別養護老人ホーム(広域型) 406床  
▶小規模特別養護老人ホーム 281床  
▶認知症高齢者グループホーム 13施設  
▶スプリンクラー整備 57施設

### ・**新**こども総合療育センター運営事業 1億円

障害児全般にわたる総合相談窓口を備え、発達障害児、知的障害児および肢体不自由児を対象に外来による診療・療育などを行うこども総合療育センターを運営します。

## 3 安心・安全な社会の形成と県土づくり

### ・**新**暴力団排除活動推進事業 100万円 (平成21年度3月補正予算で1億円の基金造成)

本年4月に施行される「暴力団排除活動の推進に関する条例」に基づく広報や啓発活動などに取り組むとともに、暴力団事務所撤去運動に係る訴訟や暴力団事務所買取りなどに活用する資金を貸付けるための基金を創設します。

### ・**新**消費生活センター整備事業 1億3,500万円

消費生活センターを県住宅供給公社ビルへ移転し、消費生活相談窓口の利便性向上を図るとともに、より相談しやすい環境を整備します。

### ・活動火山周辺地域防災営農対策事業 11億3,700万円

桜島降灰などによる農作物の被害を軽減・防止し、地域営農の発展を図るため、被覆施設や洗浄施設の整備などを行います。

## 4 人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり 環境

### ・かごしま低炭素社会モデル創造事業(屋久島) 8,500万円

屋久島で、CO<sub>2</sub>の発生が抑制された先進的な地域づくりを促進します。



▶島づくり研究会によるCO<sub>2</sub>フリーの取り組みなどの提言  
▶地域協議会の構想に基づく温暖化対策への取り組み促進  
▶電気自動車および充電器導入に係る助成  
▶電気自動車を活用した観光プランの開発促進

### ・住宅用太陽光発電普及推進事業 2億円 (平成21年度3月補正予算で環境保全基金5億円積み増し)

家庭部門における温室効果ガスの排出を削減するため、住宅用太陽光発電システムの設置経費を助成します。

環境保全基金への積み増しを行った上で、経済対策の観点も踏まえ、平成21年度3月補正予算および平成22年度当初予算でそれぞれ事業充当することにより、切れ目なく助成を行います。

### ・エコパークかごしま(仮称)整備促進事業 7億6,100万円

公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の実施設計などを行うとともに、地域への啓発活動、周辺地域の環境整備や地域振興に取り組みます。

▶実施設計の実施  
▶啓発活動  
・地元説明会の実施、パンフレットの作成など  
・先進地視察の実施、産業廃棄物セミナーの開催  
▶周辺地域環境整備  
・搬入道路の整備、河川の改修  
▶周辺地域振興  
・自治会活動などの支援、上水道の整備

### ・**新**里山林機能回復事業(森林環境税事業) 4,900万円

里山地域における管理の行き届かない森林や公益上重要な森林を整備し、里山林の持つ防災機能や景観保全機能の維持増進を図ります。



## 5 新時代に対応した戦略的な産業おこし 食料

### ・畑地帯総合農地整備事業 (平成21年度3月補正予算と合わせて) 84億8,800万円

畑作農業経営の体質強化のための国営かんがい排水と連携し、農業用排水施設、区画整理などの基盤整備を推進します。

### ・**新**上海マーケット開発拠点整備事業 6,300万円

「上海マーケティングプロデューサー」の活動拠点を上海に設置し、その活動を通じて、県産品の物流ルートを確認し、安定した販売市場としての確立を図るとともに、中国からの観光客誘致を促進します。



上海の輸入業者との商談会

### ・かごしまの農畜産物等輸出拡大事業 1,100万円

海外の量販店などにおける「鹿児島フェア」の開催や海外バイヤーの招へいによる産地PR・商談会などを実施します。また、意欲のある農業団体などの海外市場開拓に向けた取り組みを支援します。

### ・**新**農工商等連携推進事業 2,300万円

中小企業者と農林漁業者が連携し、本県の良質で豊富な農林水産物を活用した、新たな商品やサービスなどを開発する農工商連携を推進する体制を構築することにより、地域経済の活性化を図ります。

### ・**新**九州新幹線全線開業関連イベント開催事業 4,400万円

九州新幹線全線開業による観光客の誘致や県産品の販売促進などさまざまな効果を県内全域に波及させるため、開業前のイベント、開業日およびその前後に開業イベントなどを実施します。

▶「花」「灯り」「食」をテーマとするイベントの開催  
▶九州新幹線開業イベントの開催  
▶開業県外PRキャンペーン

